



2014-2015  
25-5-293

会 長 管井恵子  
 副会長 東 康彦・三原静江  
 書 記 井之上亮治  
 会 計 合志禎子

2014年11月号

<http://gamohno.web.fc2.com/>



**2014～2015年度主題**

- 国際会長 (IP) Isaac Palathinkai (インド) "Talk Less Do More"  
 「言葉より行動を」  
 アジア会長 (AP) 岡野 泰和 (西日本区) "Start Future Now"  
 「未来を始めよう、今すぐに」  
 西日本区理事 (RD) 松本 武彦 (大阪西) 「響き合い、ともに歩む  
 To walk together, echoing each other」  
 びわこ部部長 林 俊彦 (大津) 「みんなは一人のために、一人はみんなのために  
 200 推進に向けて 一歩ずつ進んでいこう」  
**滋賀蒲生野クラブ第25代会長 管井 恵子「ワイズの源流を飲み、各々の花を咲かせよう」**

**今月の聖句**

「神に属する者は神の言葉を聞く。あなたたちが聞かないのは神に属していないからである。」

ヨハネ 8 : 47



**「ワイズに対する思い」**

びわこ部部長  
林 俊 博 (大津クラブ)

滋賀蒲生野クラブから原稿依頼を頂いたのですが、つたない文章となりそうです。ご容赦ください。  
 私がワイズメンズクラブと関わったのは、当時一緒にいた岡田ワイズに誘われ、大津クラブ設立に向け準備中で、クラブ設立の2～3年前だと思います。  
 当初23名だったと思いますが、設立總會や認証式を経て活動が始まりましたが、転任や業務多忙などで1人欠け、2人欠けして、途中新入会もありましたが、現在はわずか5名となり、かつ高齢化してしまいました。しかし、現メンバーの結束は固くクラブの各行事やクラブ間の交流などに積極的に参加していただいています。今年度びわこ部部長を引き受けましたが、メンバーの応援と草津クラブの支援なしではとても無理だったと思います。  
 私は、クラブ以外に民生委員、地元での災害ボランティア活動、福祉ネットワーク活動などや共同募金委員会の会長もしており、昨年の台風による河川決壊の際はボランティアセンターで、ボランティアの受け付け業務に携わったのですが、そのとき蒲生野クラブのメンバーも駆けつけてくださったことは、ワイズのメンバーとしても大変うれしく思いました。長浜クラブからも来てくださったことは、後で知りました。  
 YMCAに対する支援のみでなく、地元での奉仕活動更には東日本大震災への支援や広く海外への各種の活動などを考えますと、人は自分のことだけでなく



**11月第一例会**

2014年 11月 11日 (火)  
19:00～21:00  
ホテルニューオウミ

司会 田中 紘  
管井恵子会長

- 19:00 開会点鐘  
ワイズソング  
会長あいさつ  
ゲスト・ビジター紹介  
会務報告
- 19:20 会食
- 19:50 「地球一周船旅報告」  
三原(茂) 三原(静) 管井 3ワイズ
- 20:35 東北大震災支援ソング 「花は咲く」  
20:40 H・アニバーサリー&H・バースデイ  
スマイル&すまいる  
ドライバー委員会  
今田 琢也  
副会長 三原 静江
- 21:00 閉会点鐘  
例会レポート 三谷 喬YS

く社会にいささかでも貢献できることが、自分の為でもあると感じます。その点で、ワイズメンズクラブの目指すことが、自分にとっても意義あるものと思っています。

例 会 出 席				B F ポイント		スマイル	
在 籍 者	17名	ビ ジ タ ー	15名	1 0 月	0	1 0 月 スマイル	13,000
内 広 義 会 員	1名	ゲ ス ト	0名	累 計	0	累 計	29,500
出 席 者	14名	メ ネ ッ ト	0名	<b>11月のテーマ Public Relations Wellness</b>			
メ ー キ ャ ッ プ	0名	コ メ ッ ト	0名				
出 席 率	87.5%	前 月 出 席 率 訂 正	0%				



# 10月第一例会

2014年10月14日

## ヴォーリスとワイズメンズクラブ



今月は、近江八幡ワイズメンズクラブの堀江宏氏に「ヴォーリスとワイズメンズクラブ」という題でレクチャーをいただきました。数日前に行われたヴォーリス・メモリアルin近江八幡でのミニ講座に続いてのお話となりました。ゲストやビジターの方もたくさんお越しいただき、ヴォーリスさんのお話を聞くことができました。

ヴォーリスさんはワイズメンズクラブに多くの望みをかけておられたそうです。会員制をとっているYMCAを支えるために、企業が支えるのではなく、個人が皆で会費を納めて支援する団体としてワイズメンズクラブが出来たことを喜ばれていました。学生が多かっ

たYMCAに新たに大人たちが集まって来る、子どもから大人までが集まる場となってきたことを非常に喜んでおられたそうです。親睦を深めることや宗教関係なく誰もが奉仕すること、シュチュワートシップを大切にすることを願っておられました。まさにワイズメンとしての活動こそがヴォーリスさんが望まれた活動であることがあらためてわかるお話となりました。

ワイズ例会を通してお互いに親睦を深めていき、助けを必要とする所へ奉仕していく活動を続けていくことが大切であると学ぶ機会となりました。

【 TEXT : Masami Daikoku 】



## 「リレー・フォー・ライフ・しが」が開催されました。



がん患者さんやその支援者たちの勇気と、希望を分かちあう場として滋賀県で初めて10月25、26日に休暇村近江八幡で開催されました。

12時から岡山小プラスバンドの後、滋賀県知事等が挨拶の中で、其々ご家族に「がん」と闘い亡くなられた方や社会復帰されたお話をされ身近に感じました。

汗ばむいい天気の下で大勢の方達とウォークしながら灯バッグのメッセージを、三原静江Y'sと見ると「お母さん、がん、頑張ってる」「家族を見守ってね。お父さん、ありがとう」「未来を見つめて...」等が書かれたものもあり、身に詰まる思いでした。



いのちを見つめる24時間の一端に参加して良かったと思っています。

【 TEXT : YOshie Kawahashi 】

## ルミナリエ セレモニー



琵琶湖の対岸比良

山脈に夕日が落ち、夜のとばりの中に、多くの人から寄せられたメッセージと共にルミナリエが、輝いていました。中央のエンブテイーテーブルを囲んでコカリナとギターがアメイジング・グレイスを奏で、祈りの詩が朗読されました。

芝生の広場にルミナリエで作られた約180mのトラックを、温代さん、安田さん、中山さん、林部長と歩きました。ステージでは、カルテットEの、素敵な演奏を楽しみ、琵琶湖の自然にかこまれ、いのちを見つめるひとときとなりました。

【 TEXT : Keiko Sugai 】



蒲生野クラブ東日本大震災義援金 2014年10月末日現在 送料@130

前月までの献金	当月献金額	合計献金額	西日本区へ送金額	差引現在金額
11,494	7,124	18,618	11,494	7,124

# びわこ報 Y'Yフォーラムが開催されました。於：八幡教会

2014年10月Y'Yフォーラム報告

10月9日(木)にY'Yフォーラムが行われました。今回は、ヴォーリス・メモリアルin近江八幡の堀江宏ワイズのミニ講座をメインにヴォーリス先生のお話を聞くことができました。遠くは広島からお越しいただいたワイズメンや、三原ワイズ・管井ワイズの旅仲間の方までご参加いただきました。

ヴォーリス先生がどのようにしてYMCAを始めたか、どのような思いで活動されたかなど貴重なお話を聞くことができました。ただ、講義をしているだけでなく実際に皆で集まり、話しあいを持って活動

を行うことが大切であるということを示しておられました。これこそ、YMCAの活動の原点でありワイズメンの原点でもあるかと思います。滋賀県内のワイズメンだけが集まり活動を行うのではなく、各地からワイズが集まり、またYMCAのスタッフやリーダーと共にY'Yフォーラムの場を持つことも、ヴォーリス先生が願っておられた活動の形だと思えます。このY'Yフォーラムの場から新しい交流が生まれ、新しい活動へと広がっていただけることを願っています。

【 TEXT : Masami Daikoku 】

参加：管井・三原茂・三原静・大黒・井之上温



## 好天に恵まれた「きぬがさ祭り」

第32回 きぬがさ祭り

10月26日、きぬがさ作業所「きぬがさ祭り」が安土文芸の郷で行われました。爽やかな秋晴れに恵まれ大勢のお客さんの中、迫力ある安土信長陣太鼓、龍谷大学のチアリーディング部の可愛いお嬢さんたちの素晴らしいパフォーマンスで華やかなオープニングとなりました。



蒲生野クラブは例年同様「たこ天」の販売です。お客さんの中には自分が食べて美味しかったので買って帰る分を買いに来てくれるリピーター客も居られまし

た。11時前頃から売れ始め午後14時過ぎまでに完売してしまう程、盛況でした。今年の販売場所



はメインステージの近くだったのでいろいろな催し物を見ながらの販売、メンバー7名も楽しみながら販売出来たと思います。日当たりが良く日焼けの心配をしながら頑張って下さった参加者の皆様ご苦労様でした。今回はイベントが重なり三原茂靖さん、静江さんが「きぬがさ祭り」に参加できず、「ヴォーリスメモリアル」の奉仕を引き受けて下さり感謝です。お疲れ様でした。 【 TEXT : Sachiko Yamada 】

参加者：三谷喬、東靖彦、菅井恵子、井之上温代、西川みち子、川橋好栄、山田祥子

## 今年もジャガイモが届きました！

9時集合には間に合わず、少し遅れて水茎の里前の駐車場へ到着すると、もう何台かの軽トラックなどの荷台にはジャガイモやカボチャが山積みされていた。今年もジャガイモもカボチャも良い出来栄えでという事である。しかし残念なのは玉ねぎがなかった事ではあるが、ワイズポテトと箱に書かれた上面には、この収益金はYMCAの学習障害児のプログラム推進に使われると書いてあった。決して派手ではないがきっと子供たちは喜んでくれることであると思う。このような目立たない奉仕活動に参加できることに感謝。



【 TEXT : Okamura Zuiou 】

# ヴォーリス・メモリアル イベントに参加しました。

ヴォーリス没後50年の今年、近江八幡市では、1か月にわたりイベントが開催されました。ワイズメンズクラブ（近江八幡クラブ・滋賀蒲生野クラブ）は、実行委員会に名を連ね滋賀Y M C Aと共に、イベントに参加し頑張りました。参加メンバー各々がヴォーリスさんの偉大さに感銘し一人一人の想いには、熱いものがありました。

## 川橋 好栄

秋晴れで爽やかないい天気10月第2土曜日のアンドリュース記念館。ヴォーリス・メモリアルin近江八幡のパスポートを手に、肩にカメラを掛けてヴォーリス没後50周年の企画展「フォトコンテスト」参加の団体やグループで多くの方が訪れてくださって、とても賑やか。午後は階段の壁にガラス窓から陽が差し、美しい窓のシルエットをカメラに...と女性達。素敵でした！近江八幡クラブの方達とも、いい時間を共有できました。



旧伊庭邸（安土）



八幡商業高校

## 三原 静江

若い頃、ひよんな事で、ヴォーリス先生の関係する職場で働きました。その時は、先生の偉大な働きを見過ごしていた様に思います。今回没後50年記念企画の中で先生の建築物が目立って、先生の本当の伝えたかった精神的なもの、いのち、心、愛や平和について来客者にもっと理解していただきたいと思いました。



## 三原茂靖

もう40数年前、この記念館でワイズへの入会を誓い、私は今もその運動と奉仕を続けています。その思い出が次から次へと甦ってきました。退会された友、天国へ送った先輩やワイズ。クラブで行った事業の数々、今はただ継続できた感謝のみです。ヴォーリス師は召天され50年が経ちますが、師が残された足跡の数々の事業は今も継承されています。1907年その創まりとなった記念館一元近江八幡Y M C Aでボランティアの一隅が担え感激深い想いが与えられました。

## 大黒真佐美

アンドリュース記念館に遠くからお越しになられた方が沢山おられました。管井さんのガイドのもと皆さんがヴォーリスさんの若き頃の写真を見られたり、建物の工夫されている場所を聞かれたりとヴォーリスさんについて学ばれていました。私も観光に来た1人のように聞き入ってしまいました。何よりも、管井さんの演奏される Hammondオルガンの音色がよく、ヴォーリス建築の中で讃美歌を聞くことができ、懐かしく兄弟社での学生生活を思い出しました。

堀江ワイズの講演会を聞くなどヴォーリスさんについて学ぶ時となりましたが、もっと沢山のことを知りたい、また学んでいかなければいけないと実感しました。

## 山田祥子

アンドリュース記念館は私にとって、50数年前にY M C A英語教室に通っていた思い出の場所、その後は娘との親子体操など感慨深い思い出で参加しております。

嬉しい出会いがありました。私が「清友園」現在の近江兄弟社幼稚園に行っていた時の友達と60数年ぶりに出会い驚きと感動で、これもヴォーリス先生と満喜子先生のお導きと感謝の気持ちで一杯です。思いがけない贈り物を頂きました。

## 井之上 亮治

ヴォーリスさんのこと、ほとんど表面的な情報しか知り得てなかったのですが、今回のイベントで文献を読んだり、多くの方々から先生に関する色々なエピソードなど、その人となりを見せて頂いたこと、少しは解ってきたような気がして...本当に良かったと思います。ご存命中にお会いできていたら、きっとや多くのエネルギーを頂けたらうと...それだけが少々残念です。



## 三谷 喬

アンドリュース館の「祈りの部屋」で、男性の方から展示されているストーブはこの部屋で使われていた物かと聞かれ、その時は正直に分かりませんと応えましたが、ふと入口の方を見るとこのストーブが写っている写真があるのに気付き、偶々戻って来たそのお客様に写真を見て頂いたところ納得された様子でした。また、女学生の方にアンドリュースの写真の前でこの館の由来について尋ねられ、入口のパネルやパンフレットでの予備知識に基づきお応えしましたが、人それぞれで物の見方、捉え方が違うものだなーとあらためて感じました。

# アンドリュース館、10月4日～11月3日



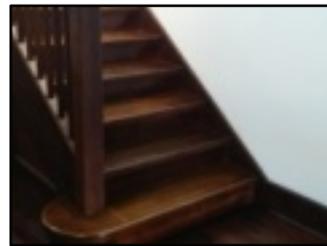
## 管井 恵子

この秋たけなわの、10月一か月間アンドリュース記念館で、ヴォーリス没後50年の展覧会のお手伝いをしました。ヴォーリス先生について漠然と知っていたこと、勝手に理解していたことなどがはっきり解ったり、身近に感ずることができたことは、大きな感動でした。たまたま、置いてあったハモンドオルガン（これもヴォーリス先生が近江セールズという代理店を立ち上げアメリカから輸入され、戦後の日本の音楽界に、貢献した。）がありましたのでヴォーリス作詞作曲の賛美歌を弾くこともさせていただきました。オルガンを通して、昔話をしてくださったり、卒業生が懐かしんでくださったり、キリスト教会の方がたが、話しかけてくださったりして、多くの方と出会いの楽しさを経験しました。ヴォーリス先生の誠実な生き方、全てを包み込む優しい愛、に触れた多くの人たちのご縁がこの機会に結ばれたことを、感謝しています。クラブの皆様の大きなご協力に厚くお礼申し上げます。

## 田中 紘

建築は工学の一部だが、ヴォーリス氏の建築にはこれに人間学が組み込まれている。過去何度かヴォーリス氏の建築を見たが、今回あらためて建築の中心に人間を置いた彼独自のやさしさを見た。

アンドリュース館の祈りの部屋の窓際の足許にはベンチレーション用の板窓がある。これを開けると通気が可能で、柱の内部を通して換気が出来ようになっている。今でこそ常識だが、当時としては画期的と思われる。新たな発見をし、新たな感銘を受けた。



## 西川 みち子

アンドリュース記念館に足を踏み入れると同時に、50年前の記憶と感覚がよみがえってきた。毎週土曜日にユースリーダーとして子ども達とYMCA活動をしていた私の青年期の貴重な場の一つであったからである。そのうち、お客様達が来られ始めると、日付印を押したり、スリッパを並べたりと対応に追われ始め、感慨にふけっている間などなくなってしまった。31名の団体様をお迎えした時は、日付印押しに追われ、一人一人の顔をみて笑顔でお迎えする余裕などありませんでした。お天気に恵まれた日曜日とあって、午前中だけで130人近くの来館者をお迎えすることができた。



## 東 康彦

近江八幡クラブと我が蒲生野クラブでアンドリュース館をまかされて初めて内部を拝見しました。ヴォーリスさんの和洋折衷の建物は天井が高く最近流行の住宅のような建物でした。団体客やヴォーリス建築の天球者らしき人々の多数の来館がありました。昭和の初めに建築された建物は、当時はたいへんモダンな建築出会ったことが想像できます。また、当時のYMCAの紹介を拝見しますと、滋賀県では、学生YMCAがスタートだったようですね。YMCAの滋賀の歴史を知りました。

## 合志 貞子

アンドリュース館を10月10日、17日の午前を担当しました。10日は8名と少なかったですが、17日は八幡小学校の4年生が130名、神戸女学院の学生と一般の方合わせて200名近くの方が見られました。小学生達はボランティアガイドさんの話をしっかり聞きメモをしていました。ヴォーリスさんがアメリカから送ってもらった2台のうちのオルガンがアンドリュース館に、もう1台は神戸女学院にあると言うことで感慨無量です。午後の方とボタンタッチをし、帰りはヴォーリス建築の郵便局を見てヴォーリスの記念切手を買いました。

## 井之上 温代

子供のころから知っていたヴォーリスという名前。今回のイベントに参加して改めて彼の偉大さを知り感激しました。伝道、医療、教育、製薬販売事業、音楽や詩作、国際交流など幅広い分野にたいへん多くの実績を残されています。とても多くの事を学ばせていただきました。現在、満喜子夫人の生涯が描かれた「負けんとき」を読んでおりその時代にタイムスリップして楽しんでいます。感謝。

# 地球一周の旅

## 「地球一周の船旅」行って来ました -最終編-

三原 茂靖

3月13日横浜を出航して50日余り経ち、半分の行程を楽しく過ごして来ました。

地中海のジブラルタル海峡を出て、大西洋に入って来ました。船は次の港ラグアイラまで11日間の航海です。船内では洋上運動会や自主企画の文化講習会、発表会又講演会と毎日楽しく過ごしていました。私達



夫婦はカリブ海航行中の5月3日結婚記念日を二人だけで迎え食事を致しました。料理長はじめ船員の人より祝福をう

け、良い記念日になりました。

船はベネズエラのラグアイラ港に入港。バスで首都カラカスへ向う車窓から、山の中腹に沢山のスラム街。そして都心近くでは大きなマンションを幾棟も建築して、そこに順次移住させ、スラム街を無くそうという国策です。その規模の大きさに驚かされました。また、若者の非行防止のためエル・システムという政策で音楽教育が盛



んでした。その四重奏を鑑賞した。首都カラカスでは故チャスベス大統領のお棺が安

置されているところを拝見し、国によって文化、宗教、風習の違いを如実に体験し、私にとって大切な事を教えられました。夜はベネズエラ・メモリアル・フェスティバルが開催され、オーケストラの演奏を鑑賞しました。国をあげての歓迎に感謝。感激。

船はいよいよカリブ海を横断して太平洋の入口パナマ運河に差しかかりました。スエズ運河は掘って航路を築かれたのに対して、パナマはカリブ海より海拔25メートルにあるガトゥン湖を利用した航路です。

閘門に何回か入って船を上げ下げして太平洋に出るのです。(80km)その行程がとても興味深くなりました。



これで二つの大きな運河を航行して地球一周することになったのです。

この旅行で、船は赤道を北に南にへと何回も渡り、南半球のペルーのカヤオに着きました。管井ワイズは高山と歩行が苦手と、リマ・ミラフローレンス地区や市内観光に行かれました。私達はナスカの地上絵とマチュピチュの旅、二泊三日に出かけました。バスに乗り、セスナ機に乗り、荒涼たる山々、砂原。所々に集落とみどり豊かな農場を見、ナスカの上空にさしかかりました。くじら、さる、ハチドリなどの地上絵を急旋回で目を回しながら見ました。私達は実物を見た満足感に浸っていました。翌日は元のリマへ戻り一泊。夜中の2時過ぎから出発。バス、飛行機、バス、でクスコ(標高3400米)へそこからバスに乗り、専用列車でマチュピチュ(標高2400米)に着いたのはお昼過ぎでした。高山病を心配していたが二人とも元気に登れ、すばらしい光景を脳裏に焼き付けてきました。この世界遺産のスケールの大きさと石の文化、建造物を見て「ここまで来てよかったな」と感謝でした。

### 「思ひ事」

三原 静江

穏やかでゆつくりした心のゆとりのある老いを願い、私の計画通り、一昨年二代続いた商売に終止符を打ち今年3月12日より地球一周(ピースボート)の船旅へ主人と大好きな親友を巻き込みオーシャンドリーム号(パナマ船籍)の船上に乗り込みました。

この船の計画については、頑固な主人を長い年月をかけ洗脳し、子ども達にも理解してもらった。一年の三分の一を旅するわけです。世間や日々の生活のしがらみから解放され、まるで少女の如くわくわくとした気分が出発いたしました。

皆様の思いう「飛鳥」の花旅の豪華さはありませんでしたが、私にとっては、新鮮な心ときめきを覚え、乗客同士の交友や乗組員とのやりとり、オブショナルツアーでの体験(その記事は主人が書いています)すべてが初めての出会いで感謝と感激の連続でした。

船の中では著名な先生方の講演を聞き、見分を広げました。ベリーグダンスやサルサダンスの指導も受け、行事は運動会、餅つき、自主企画の発表会など、毎日が忙しく、何十年も溜め込んだストレスがいっぺんに解消された日々でした。

帰国前に、ツートンカラー(白黒)のあごひげを蓄えたピースボート事務長が「皆さんは、あと二日で夢から覚めて現実に戻ります。特にご婦人の方は・・・」みんなで爆笑しました。が、今、その通りになりました。

主人や多くの船上の友と過ごした思い出を、懐かしみながら終活の過ごし方を模索しているところです。私は、一期一会を大切に社会の中で何か自分が納得できる生き方をしたいと思っています。

# ワイズの



280

神戸学園都市クラブ

杉本 隆人

さんだクラブの安行さんからバトンを受けた杉本です。我々の神戸学園都市クラブも20年をすぎて、チャーターメンバーは、4名となってしまい、20年という年月が流れたんだと改めて感じている今日この頃です。振り変えれば、あっという間に過ぎた20年ですが、設立後1年と2日で、阪神淡路大震災が起こり、多くの知人、友人の家族、親族が犠牲となり、世の中の無情さを経験し、ワイズでのボランティア活動にめざめ

今回は、瀬戸山陰部 姫路クラブ

会長 山本和生ワイズを紹介します。



た時でもありました。何せ他人事ではないので無我夢中でやってきたように思います。

ワイズメンズでの活動での基本を教えていただいた方が二人おります。その一人は、草地賢一氏(草の根運動での国際協力JICAで活躍された方)ともう一人は確か大阪クラブだったと思いますが、ワイズの大先輩、大阪の和菓子屋、「新杵」の三井さんです。御二人には、設立当時のそれぞれ別々の例会にお招きし、卓話してもらった折りに、プライベートに「私は、このワイズで何をすればいいのでしょうか?」と質問しました。

何と御二人の回答は、同じ助言だったのには、いまさらながらに驚いておりますが、今も私のワイズ活動の規範として頑張っております。

どんな答えやと思います!!

その答えは、「君の信じるままに、活動しなさい。

他人に惑わされないで、やればいいんや」と当時、その答えを聞いた時は、僕が真剣に質問しているのに、はぐらかしているように感じておりましたが、御二人の答えが同じだったので、真剣に受け止めたことを覚えております。

今、私自身、その言葉の重みと奥深さを感じて、公私においての行動規範となりつつありますが、中々、自分信じるままに活動はできないし、結果を求めしまう傾向があり、矛盾の中に陥ることが多々あり、日々、新たな気持ちで頑張っております。

## 京都グローバルクラブのツーバイ例会に出席しました

### わたし「助演」をつくりませ

10月1日、日没が速くなり京都の夕暮れを急ぐ人々の間を抜け、会場のリーガロイヤルホテル京都に急ぎました。久しぶりの他部の例会に出席のためです。ツーバイ(二倍)例会と称するこの例会は文字通りメンバー数の倍、125名の参加で開催されました。このクラブの例会の特徴に「グローバル宣言」なるものがありますが、心を盛り上げてくれます。

1. 私たちは、良質の人間関係を保ち、友好の輪をグローバルに広げます。
1. 私達は、地域社会に親睦のエネルギーを放出し、限らない奉仕をします。
1. 私達は、YMCAと良きパートナーシップを保ち、国際社会に奉仕します。

メインプログラムは、青野浩美さんの講演と歌でした。

音楽を学んでいた学生時代、突然体の自由を奪われ原因不明の難病に。「前例がないから無理だ」と言われた歌をあきらめず、自身の障害と向き合い、闘い続けてこられた。

車椅子で唄うことを取り戻した頃、無呼吸発作が襲う。気管切開をして夜間は人工呼吸器を使用しながら、唄うことをあきらめない! 「前例がないから無理だ」と言われた歌をあきらめず、自身の障害と向き合い、闘い続けて来られたその歌声に感動して聞き入ってしまいました。

いつどんな困難が身に降りかかってくるかもしれない。そんな時でも前を見つめ、チャレンジしていく気持ちは、誰にでも出来るということを決してあきらめてはいけないということなのでしょう。【TEXT: Atsuyo Inoue】

## 長浜クラブ プラスワン例会に出席しました

会長 管井恵子

10月2日(木)長浜クラブEMCプラスワン例会に、温代さんと出席してきました。出席者ななんと108名。名古屋、大阪、金沢、四日市、京都、びわこ部各クラブ、入会予備軍約25名という、一寸した部会並みの例会です。

開会点鐘の後、「秋づくしのお弁当」をいただき、EMCアワーということで、YMCAについて、ワイズについて、EMCとは、長浜クラブの事業活動などが紹介されました。そして本日のメインイベント(京都府警察本部 刑事部外郭団体)公益財団法人京都府暴力団放運動推進センター事業課長)上原 忠晴氏による講演がはじまりました。平成4年に、暴力団対策法が施行されてから全国ではじめて講演にロールプレイングをとりいれたことで、一躍有名になり、マスコミに取り上げられ、現在日本国中、暴排運動講演をして大活躍をしておられるというプロフィールの持ち主の方で、ド迫力の講演でした。・事故等であらまれたりしたときは、「知りません」ではなく「答えられません」と言いなさい。そしてとにかく警察に連絡する。暴力団関係の人は、今時見るからにそれらしい人は、おらずきれいなマスクを被っているの、「人権問題」「右翼」などの仮面をしていることもあるので、困ったことがあったら、警察に連絡するこれが一番ということでした。

「いのち」が何より大切を肝に銘じて、(い)・いつも心に2つの勇気(の)・NOという勇気(ち)・小さいことでも相談する勇気を持って下さいと結ばれました。

アピールタイムでは、京都トップクラブが20人壇上から200人例会のアピールをされ、元気に圧倒されて、家路につきました。

クラブ名	第一例会	第二例会
近江八幡クラブ	15日	
彦根クラブ	12日	
彦根シャトークラブ	13日	27日
長浜クラブ	6日	20日
草津クラブ	18日	
大津クラブ	8日	
滋賀蒲生野クラブ	11日	㊥ 4日

HAPPY ANNIVERSARY

29日 岡村 瑞應

HAPPY BIRTHDAY

該当者ありません



～10月役員会報告～

2014/10/7(火) 田中事務所

出席者：管井 三原(静) 合志 西川 三谷 川橋 田中山田 三原(茂) 大黒 井之上(亮)

【例会関係】

10月 第1例会の件 10/14(火) 19:00～21:00

堀江 宏 氏講演 「ワイズとヴォーリス」

ビジター 15名

10月 第1例会の件 11/11(火) 19:00～21:00

「地球一周船旅報告」

三原(茂) 三原(静) 管井 3ワイズ

12月 第1例会の件 12/9(火) 19:00～19:30

次回役員会にて 詳細検討(担:EMC プリソ)

【クラブ関係】

・きぬがさ祭り 10/26(日) 9:00～ 7名参加

ポロシャツ使用

・じゃがいも入荷・引取り10/12 9:00 水茎の里

5～7名参加

・びわこ部会出席者補助の件

【びわこ部関係】

・EMCシンポジウム 11/15(土) 14:00～16:00

湖北勤労福祉会館 例会にて参加者確認

・ヴォーリス メモリアル記念事業 サポートの件

各種確認

・部 YYフォーラム 10/9(木)八幡教会 出席の件

・リレーフォーライフ(八幡クラブ)

10/25～26 参加の件

・部 ボーリング大会 11/30(日)の件

・彦根クラブ例会 11/12

インドBCから来彦の案内

・部 役員会・評議会 11/29(土) 八幡YMCA

出席者確認

次回役員会 11月4日 19:30～21:30 田中Office



秋の味覚収穫祭

滋賀YMCA教育農園「八坂農園」にて、10月18日にさつまいも収穫を行いました。5月に彦根ワイズとリーダーOPによって苗植えが行われたさつまいもの収穫となりました。子どもたちも収穫に参加し、宝探しのように一生懸命掘り起こしていました。すぐに大きなさつまいもが出てくる時もあれば、ツルをたどっていても見つからない場合もあり、汗を流しながら楽しみました。YMCAに帰ってからは子どもたちとともにおやつ作りを行いました。



25年継続会員賞受賞

全国のYMCAでYMCA運動に25年以上継続してご奉仕いただいている方々に贈られる賞であり、この賞は2年に1度表彰が行われます。今年は滋賀YMCAから中村喜雄さん、小川恵一郎さん、鈴木康雄さん、宮嶋忠夫さん、岩崎正俊さん、松原基夫さんの6名が表彰されます。11月22日から行われます日本YMCA大会にて表彰式が行われます。長年に渡り滋賀YMCAをお支え頂きありがとうございます。

予定

10月27日(月) 冬プログラム会員Web受付開始  
29日(水) 冬プログラム一般Web受付開始  
11月4日(火) 冬プログラム会員電話受付開始  
6日(木) 冬プログラム一般電話受付開始  
11月1～3日 全国リーダー研修会  
22～24日 日本YMCA大会  
24・30日 冬プログラムリーダー研修

From Edito 10月から11月にかけて1ヶ月。ヴォーリス メモリアルへの活動、お疲れ様でした。各々がヴォーリスさんについて多くを知り感銘を受けられたことでしょう。アンドリュース館というヴォーリス建築第一号にいられたことも幸せでしたね。季節は、秋から冬へと移っていきます。ご自愛を。